

# 平成 30 年度定期点検の概要

群馬県橋梁点検要領(案)【改訂版】に定める「定期点検」を実施し、橋梁の損傷状況を把握したうえで、群馬県橋梁点検要領(案)【改訂版】及び国土交通省橋梁定期点検要領に基づき対策区分の判定を行いました。また、その結果を基に道路橋定期点検要領の区分により健全性診断を判定いたしました。

平成 30 年度では 41 橋の点検を実施しました。

## 健全性と対策区分の対応表

道路橋定期点検要領 (国土交通省 H26.6)		群馬県橋梁点検要領 (県土整備部 H29.3)		橋梁点検要領 (国土交通省 H26.6)	
記号	内容	記号	内容	記号	内容
Ⅳ	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態	E1	橋梁構造の安全性から、緊急対応の必要がある。	E1	橋梁構造の安全性から、緊急対応の必要がある。
Ⅲ	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。	E2	その他、緊急対応の必要がある。	E2	その他、緊急対応の必要がある。
		C2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修を行う必要がある。	C2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修を行う必要がある。
Ⅱ	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	C1	予防保全の観点から、速やかに補修を行う必要がある。	C1	予防保全の観点から、速やかに補修を行う必要がある。
		M	維持工事で対応する必要がある。	M	維持工事で対応する必要がある。
Ⅰ	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	B	状況に応じて補修を行う必要がある。	B	状況に応じて補修を行う必要がある。
		A	損傷が軽微で補修を行う必要がない。	A	損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。
		A0	損傷が認められない。		
—	調査の結果を踏まえて、Ⅰ～Ⅳで判断。	S1	原因の確定など、詳細調査を行う必要がある。	S1	詳細調査の必要がある。
		S2	損傷の進行状況を確認するため、追跡調査を行う必要がある。	S2	追跡調査の必要がある。

平成30年度 橋梁点検結果一覧表

No.	橋銘	橋長	径間数	材料区分:構造形式	供用年	補修履歴	健全性の診断	(1)緊急性が高い対策区分等の主要部材		(2)速やかな補修が必要なその他部材	維持工事が必要な部材	備考
								対策区分	左記対策区分の部材区分	部材区分		
1	3-2号橋	5.6	1	単純RCスラブ橋	不明	無	II	C1	橋台	伸縮装置	地覆	
2	3-3号橋	5.0	1	単純RCスラブ橋	不明	無	I				防護柵	
3	3-4号橋	4.5	1	単純RCスラブ橋	不明	無	I			地覆,伸縮装置	排水管	
4	3-8号橋	2.3	1	単純RCスラブ橋	不明	無	II	C1	基礎		その他	
5	3-9号橋	3.0	1	単純RCスラブ橋	不明	無	II	C1	床版	伸縮装置	地覆	
6	3-16号橋	10.5	1	単純鋼H桁橋	不明	無	II	C1	主桁(縦桁),横桁,橋台	支承本体・アンカーボルト,伸縮装置	排水管	
7	3-26号橋(関谷橋)	14.0	1	単純RCT桁橋	1959	無	III	C2	主桁(縦桁)	支承本体・アンカーボルト	舗装	
8	3-27号橋(温川橋)	63.8	2	単純鋼少数I桁橋×2	1964	無	II	C1	主桁(縦桁)	支承本体・アンカーボルト,伸縮装置,沓座モルタル・台座コンクリート	防護柵,支承本体・アンカーボルト,舗装	
9	4-60号橋(岩鼻橋)	17.0	1	単純鋼H桁橋	1966	無	II	C1	横桁,橋台	支承本体・アンカーボルト,沓座モルタル・台座コンクリート,伸縮装置	防護柵,排水管	
10	4-62号橋(矢竹橋)	9.4	1	単純鋼H桁橋	1964	無	II	C1	主桁(縦桁),横桁,橋台	支承本体・アンカーボルト	防護柵	
11	4-64号橋(大石澤橋)	12.5	1	単純RCT桁橋	1963	無	I			支承本体・アンカーボルト,伸縮装置	舗装	
12	4-65号橋	13.5	1	単純RCT桁橋	1957	無	III	C2	主桁(縦桁)	支承本体・アンカーボルト	防護柵	
13	4-66号橋(飯前橋)	9.4	1	単純RCT桁橋	1960	無	III	C2	主桁(縦桁),横桁	支承本体・アンカーボルト,その他,防護柵,伸縮装置	防護柵,舗装,排水管	
14	4-67号橋(矢城橋)	9.4	1	単純RCT桁橋	1961	無	II	C1	橋台	支承本体・アンカーボルト,防護柵,伸縮装置	防護柵,舗装,排水管	
15	4-68号橋	4.3	1	単純RCスラブ橋	不明	無	I			地覆,伸縮装置		
16	4-69号橋(滝の沢橋)	8.5	1	単純RCT桁橋	1960	無	III	C2	主桁(縦桁),横桁	支承本体・アンカーボルト,その他,防護柵,地覆,伸縮装置	防護柵,地覆,排水管	
17	4-70号橋	5.4	1	単純RCスラブ橋	不明	無	I			地覆,伸縮装置	舗装	
18	4-71号橋(永福橋)	8.4	1	単純PCプレテンスラブ桁橋	1962	無	I			伸縮装置	防護柵,排水管	
19	4-74号橋	3.8	1	単純鋼H桁橋	不明	無	II	C1	主桁(縦桁)	支承本体・アンカーボルト		
20	4-75号橋	2.3	1	ボックスカルバート(プレキャスト)	2014	無	I				地覆	
21	4-77号橋	5.1	1	単純RCスラブ橋	不明	無	II	C1	橋台	舗装,伸縮装置	防護柵,地覆	
22	4-78号橋	6.9	1	単純RCスラブ橋	不明	無	I			伸縮装置		
23	4-79号橋(竹橋)	8.8	1	ボックスカルバート(現場打ち)	1968	無	I					
24	4-80号橋(十二沢一号橋)	11.0	1	単純PCプレテンスラブ桁橋	1999	無	I				その他	
25	4-81号橋(十二沢二号橋)	8.8	1	単純PCプレテンスラブ桁橋	2000	無	II	C1	橋台			

No.	橋銘	橋長	径間数	材料区分:構造形式	供用年	補修履歴	健全性の診断	(1)緊急性が高い対策区分等の主要部材		(2)速やかな補修が必要なその他部材	維持工事に必要な部材	備考
								対策区分	左記対策区分の部材区分	部材区分		
26	4-83号橋	4.8	1	単純RCスラブ橋	不明	無	III	C2	床版			
27	4-84号橋	4.8	1	単純RCスラブ橋	不明	無	III	C2	床版			
28	4-86号橋	2.4	1	単純RCスラブ橋	不明	無	I			伸縮装置	緑石	
29	4-87号橋	7.0	1	単純RCスラブ橋	不明	無	I					
30	4-90号橋	5.0	1	単純RCスラブ橋	1993	無	I					
31	4-91号橋	7.1	1	単純RCスラブ橋	不明	無	I				舗装	
32	4-97号橋(猿谷戸橋)	6.0	1	単純RCT桁橋	1958	無	I			支承本体・アンカーボルト,伸縮装置		
33	5-47号橋(岩島橋)	80.1	2	単純PCT桁橋×2	1959	無	III	C2	主桁(縦桁)	支承本体・アンカーボルト,その他,伸縮装置,地覆	防護柵,横桁,舗装,排水管,排水ます,橋台,その他	
34	(仮)2-61号線	3.4	1	ボックスカルバート(プレキャスト)	不明	無	I					
35	5-95号橋(鎌田沢1号橋)	8.0	1	単純RCスラブ橋	2014	無	I					
36	5-96号橋(三堂入窪沢1号橋)	7.0	1	単純RCスラブ橋	2011	無	I					
37	5-97号橋(鎌田沢2号橋)	8.0	1	単純RCスラブ橋	2014	無	I					
38	5-98号橋(鎌田沢4号橋)	6.3	1	単純鋼少数I桁橋	2016	無	I					
39	5-99号橋(三堂入窪沢2号橋)	5.5	1	単純鋼少数I桁橋	2016	無	I					
40	9-5号橋(岡崎跨道橋)	24.7	1	単純RCT桁橋	2016	無	I					
51	4-10号橋(鳶ヶ沢橋)	24.50	2	単純RCT桁橋×2	1960	無	2	C2	床版、基礎	舗装、伸縮装置、支承本体	舗装、排水管	

